

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 阿久根由美子
日 時		平成26年10月2日(木曜日)		開 議 午前 11 時 30 分 閉 議 午後 0 時 16 分
出席委員		菱田 山本(広報部会長) 眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 堤		
事務局 出席者		藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任		
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名()

会 議 の 概 要

11:30

〔菱田委員長開議〕

1 わがまちトークについて

<菱田委員長>

広聴部会で新たなわがまちトーク案をまとめられた。

<眞継副委員長>

全員協議会では11月実施6会場の案に賛同してもらえなかった。その後部会でまとめた。(別紙説明)テーマは広報広聴活動に関することになると思う。テーマ、内容を検討したい。

<菱田委員長>

市民や自治会から報告会の開催のことを聞かれた。関心は高いと思う。

<山本副委員長>

広報広聴活動なら議会だより、議会報告会のテーマになる。市民が報告会を待ってくださっているのなら議会に対する意見があるかもしれない。市政全般のことになるので広報広聴委員だけでなく全議員の出席を検討するべき。

<菱田委員長>

広報広聴会議の所管で考えている。広報広聴に対する意見を聞きたい。16期につながる取組みにしたい。

<苗村委員>

議会だより、議会報告会など市民とのつながりのためにやってきたことについて意見を聞くべき。フリートークになれば何の質問が出るか分からないので全議員でやればよいと思う。

<眞継副委員長>

テーマが未定なのでイメージできないと思う。広報広聴会議主催のため広報広聴活動がベースになる。フリートークになれば整理できるか、委員外議員はどうするのかの課題はあるが。広報広聴活動のテーマでの開催が基本だと思う。

< 中澤委員 >

議会基本条例に沿ってやってきたが総括が出来ていない。広報広聴会議でやるのはよい。今回の開催趣旨を徹底し広報広聴活動に絞ってやればよい。

< 中村委員 >

報告会の散会は少なかった。今期最後まで自治会で開催すればよかったと思っている。今回は広報広聴がテーマである。趣旨を徹底してやるべき。

< 山本副委員長 >

フリートークになれば地域のことも言いたいと思う。お知らせでは趣旨、目的をはっきりしておくべき。

< 中澤委員 >

開催までに各町に自治会版わがまちトークのアンケートをしてはどうか。

< 眞継副委員長 >

議会運営委員会に報告しなければならない。まだ議論が足りない。

< 福井委員 >

広報広聴のテーマですればよい。市民参加の動員は難しいので広報広聴会議の各委員で声掛けをしてもらいたい。意見交換の最後にフリートークの時間を作ればよい。アンケートはしてきたが生の声でキャッチボールはしていない。それをするのが今回である。

< 苗村委員 >

それでよい。参加呼びかけのためのチラシを作ればよい。15期最後のわがまちトークなので全議員出席すればよい。

< 菱田委員長 >

- ・ 広報広聴活動について意見をもらう。
- ・ テーマ、キャッチコピーは広聴部会に一任願う。
- ・ 委員外議員にも極力出席願う。
- ・ 個人の意見を述べることを可能とし、フリートークを入れる。

以上を決定する。

< 眞継副委員長 >

広聴部会でキャッチコピーを考える。

< 事務局長 >

委員外議員が参加する場合、意見も述べるのか。

< 菱田委員長 >

場の雰囲気でも意見も述べればよいと思う。

< 福井委員 >

広報広聴会議委員のみでやればよい。

< 苗村委員 >

広報広聴会議委員だけではフリートークでの質問に答えられないかもしれない。常任委員長の出席は必要だと思う。

<山本副委員長>

出席議員の発言の機会はあってよい。

<中村委員>

広報広聴会議委員のみでやればよい。やりたくない議員もいた。

<中澤委員>

出席できる議員は出席すればよい。フリートークの門戸は広げず、絞るべき。

<事務局副課長>

あらかじめ出席議員が分からないと広報が難しい。

<中澤委員>

主催は広報広聴会議でよい。

<山本副委員長>

議会だより、議会報告会がテーマならこのメンバーでよい。フリートークも広報広聴の内容に絞るなら広報広聴会議委員だけでよい。

<菱田委員長>

16期につなぐために行う。広報広聴会議で全て行う。出席議員は広報広聴会議委員とする。他の議員には会場に来てもらうよう声をかける。

<眞継副委員長>

開催の広報はそれでよい。会場に来た議員の発言をどうするのは部会で考えたい。フリートークも広報広聴関連とする。

<福井委員>

テーマははっきりしている。キャッチコピーを検討する。市民と議会の距離を縮めるにはどうすればよいかを軸にすればよい。

<眞継副委員長>

それでよい。委員外議員が発言してもよいと思う。進行上の判断として、含んでおいてほしい。

<菱田委員長>

臨機応変な対応も出てくると思う。

<事務局副課長>

お知らせ版、議会だよりの原稿の締め切りが迫っている。掲載内容は広聴部会に委ねることによりのか協議願う。

<菱田委員長>

キャッチコピー、お知らせの掲載内容については広聴部会に一任とする。

了

〔菱田委員長 閉議〕

12 : 16